

第5分科会石川支部 ワークシート(セッション2)

学校のスタッフとして生き生きと働く！ ～自由な発想で学校事務をデザインする～

★全事研Webに投稿した各自の実践事例を御用意の上、参加をお願いします。

なお、投稿できていない方はこのシートを御用意の上、参加をお願いします。

1. つかさどり、学校運営参画を行うため、自分が日頃担っている役割や実践している内容を振り返り、グループでの討議の参考にしましょう。

【タイトル】 学校徴収金の事務職員の関わり（前任校）

【背景と目標】

前任校では、学校徴収金に全く事務職員が関わっておらず、各学年の先生方・主幹の先生がおこなっていた。また、銀行業務も空き時間に先生自身が行くことが多く、負担が大きかった。また、給食費が公会計化になることで月々の集金額が少なくなることが予想された。教材費については、各学年の先生方に任せ、それ以外の集金業務については事務職員が行うことにしたい。そして、年間の集金回数を減らし、手数料の負担を減らしたい。

【協働・取組】

まず、事務職員が関わるよう学校徴収金打合せ会で提案。先生方には教材費のみ担当してもらった。また、給食費公会計化のタイミングで年10回の引き落としを年7回に減らした。

【成果と課題】

先生方は銀行に行く回数が減り、集金業務（おたより作成）の回数も少し減ったため、先生方の負担は軽くなったと思う。
今後銀行業務をさらに減らすため、インターネットバンキングが有効。

【教訓】

先生方の負担を減らせるよう働きかけていきたい。が、事務職員の負担についても考えていくべき。少しずつ変化していけばいいと思う。

- (参考例)
- ① GIGAスクール、ICT機器を使った実践
 - ② コミュニティ・スクール、地域連携の実践
 - ③ 環境整備の実践
 - ④ 業務改善（教職員の負担軽減）の実践
 - ⑤ 財務（予算要求、保護者負担軽減）に関する実践

2. 自分の実践の自己分析を5段階で〔低1～5高〕してみましょう。

① 実践の自分の満足度	1	2	3	○4	5
② 実践への周りの反応	1	2	3	④	5